

# 第一章 インプラント、ブリッジ、入れ歯、放置

私、歯科医になりそろそろ30年近くなります。臨床畑をず〜っと歩いてきました。その中で実感している事、それは、「歯を失ったらインプラントで補うしかない！」という事です。断言できます！

その他の全ての治療法では、長い目で見て、どんどん歯は悪くなります。どんどん歯は抜けます。どんどん状態は悪化します。間違いありません！

もちろん比較するとインプラントが「最も優れている」という事であって、「費用がかかる」「手術が必要」という欠点もあります。

インプラントの詳しい説明をする前に、歯を失った場合の全ての対処法(4つ)を一つ一つ見ていきましょう。

①インプラント ②ブリッジ ③入れ歯 ④放置

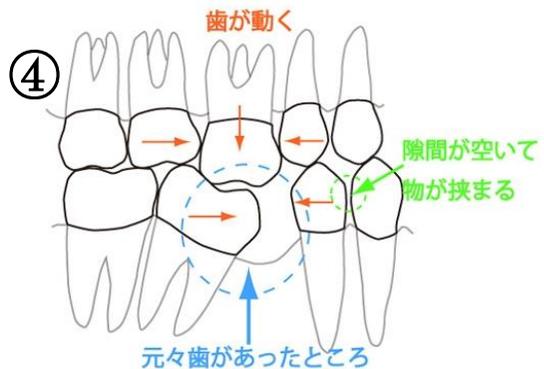
① インプラント



② ブリッジ



③ 部分入れ歯



以上4つです。①～④は何の順かということ、「いい」順番です。「望ましい」順番です。「長持ちする」順番です。でも、「高価な」順番でもあります。

日本ではありえない事ですが、もし医科で歯科の治療ができるのであれば、普通の治療は全て保険がきくでしょう。そうすると、ドクターから説明を受けるのはおそらく①だけです。放射線治療を受けている方や、どうしても手術が怖い方のみ②～④の説明を受けることになります。なぜならば、②～④では歯を長期間維持する事は不可能だからです。

ブリッジ



「②ブリッジ」とは、抜けた歯の前後の歯を削って3本又はそれ以上繋いでかぶせる治療法です。長所とし

ては、保険で出来る場合には割と安いことがあげられ

ます。短所はたくさんあります。まず第一に、支える歯は、負担過重となり、弱ります。8時間労働だった人が急に、12時間労働になるようなものです。過労で、だんだん元気がなくなっていくます。第二に、歯の表面の硬くて丈夫なエナメル質を削るので、虫歯になりやすくなります。第三に、冠と歯との境目にどうしても段差が付くので、歯周病が進みやすくなります。

長い目で見ると、必ず悪くなります。

部分入れ歯



「③入れ歯」とは、取り外し式の装置

です。長所は、樹脂主体の「レジン床」

なら保険がきいて安い！事です。ち

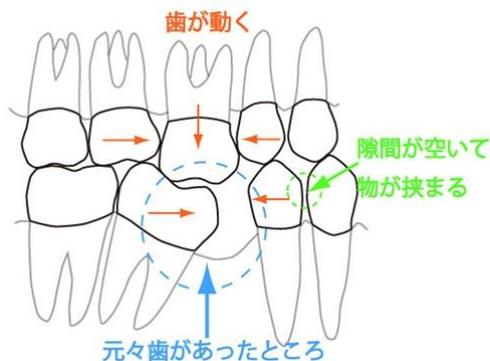
なみに保険がきかない入れ歯には、金属主体に作った「金属床」があります。これは、薄くて丈夫に作る事が出来るので、感じがよく、骨に対する害も1/10といわれています。その他、金属のひっかけを無くし、見かけを良くした「ノンクラスプデンチャー」などもあります。

入れ歯の欠点はたくさんあります。口の中の「異物感が取れない」、つまり「気になる」。「慣れない」、「喋りにくい」、「おいしく食べられない」、とか、金属のひっかけが目立って「恥ずかしい」とか、食後に洗わないといけないから「面倒くさい」とか、においが付き「臭くなる」とか、2~3年しか「持たない」とか、色々あります。しかし、大きな欠点は、以上のことではなく、以下の2点で

あることをご理解願いたいと思います。

まず第一に、「ひっかけている歯をダメにする」という事です。歯に変な向きの力がかなりかかりますので、弱ります。又、ひっかけてあることで不潔になり、虫歯、歯周病を悪化させます。歯は、結果ダメになります。つまり抜くことになります。第二に「骨をダメにしていく」「骨を壊していく」という事です。元々、歯を失った骨は、どんどん痩せて薄くなっていきますが、入れ歯を入れるとこれが10倍以上加速されます。骨が痩せて無くなっていくのです。入れ歯を支える骨が無くなってゆくので、入れ歯の安定は失われ、緩くもなり、咬めなくなります。特に下顎が総入れ歯の場合は骨が年々痩せて

いき、どんどん咬めなくなります。最悪です。



「④放置」。抜けたところ  
を治療しないと、抜けたと  
ころに向かって他の歯が

動きます。咬み合わせの歯は「抜けて、伸びて」きます。

奥の歯は「斜めに倒れて」きます。結果、抜けたところ

の後方では、まともに咬めなくなります。

残っている奥歯に力がかかり過ぎ、負担過重になり、  
傷み、寿命が短くなります。奥歯が少なくなると、前歯  
に力がかかり、出っ歯になり、見かけも悪くなります。

もしその前歯に差し歯があるはずれます。はずれた

時には抜歯しないといけないかもしれません。

以上、②～④についてご説明しました。

つまり「どれもダメ！」という事です。勿論、①インプラントは費用がかかりますし、手術も必要となってきます。

でも、長い目で見ると、②～④と比べて、本当に価格が高いのかというと、実は、そうでもない！とも思います。

1本1本もしくは数本ずつ歯が悪くなっていく、もしくは歯が失われていく。そして、いろんな嫌な事が次から次へと起こってくるのです。その連鎖をインプラントで止めることが出来るのです。素晴らしい治療法です。

インプラント以外の方法では、再生療法がありますが、

実現化には数十年かかりそうですし、1本につき数百万円はかかりそうです。導入は難しいですね。

では、次章から本題のひがし歯科でインプラントを入れたくなる4つの理由についてお話ししたいと思います。

## 第二章 SG と CT を用いた確実に早く、

### 痛みの少ない治療

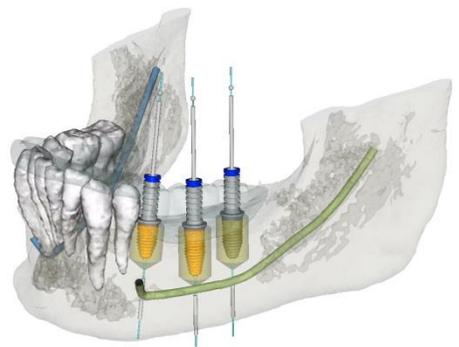
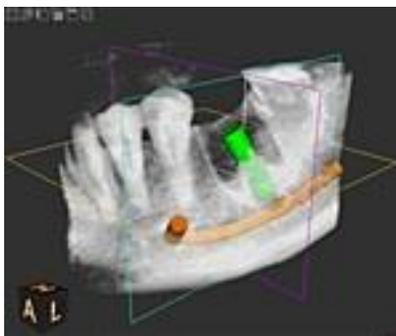
通常のレントゲンが表から撮影するのに対し、骨を立体的にとらえ、輪切りの状態で治療の目安にするのが、CT(断層撮影)です。当院では、日本で一番普及しているヨシダのトロフィーンプラスという歯科用 CT を九州で二番目に、もちろん熊本では一番に導入しました。

簡単なインプラント手術を大雑把にするのでしたら、レントゲンだけで充分です。でも「インプラント手術をする」のではなく「ベストのインプラント手術をする」ので

あれば、CT が必要です。

ただ CT は、数千万円するので、どの歯科医院でも買えるものではありません。いいインプラント手術を受けたいのでしたら、是非、院内に CT 設備がある医院で手術を受けることをおすすめします。

さて、ひがし歯科のインプラントが優れているのは、まず「SG(サージカルガイド)を用いて CT を撮っている



こと」です。上記左図を見て下さい。CT を撮っている医院では、大抵図のような術前シミュレーションをやって

います。ただし、このインプラントを埋入するラインは、  
実際は口の中ではわかりません。そのために、広く骨膜  
をはぎ、骨面を出して、指で触りながら勘でやっている  
のです。骨膜をはぐことで痛みも出やすいし、時間もか  
かります。傷も大きいし、出血もします。ウーン?!

ひがし歯科では、上記右図の様に SG を作って CT を  
撮り、手術の時も使っています。そうすると、インプラン  
トを埋入するラインが正しく定められます。

角度の誤差もわずかですし、長さもシミュレーション  
通りやればばっちりです。この角度かな？これ位の深  
さかな？などと迷う事もないので、「時間がかかりま  
せん！」骨膜を切ってはがらないので「痛みがあまりで

ません！」「出血もあまりありません！」誤差が少ない  
ので、難しい手術でも「わりと簡単にできます！」良い  
ことばかりです。

普通のインプラントが大きくお腹を切って行う昔の  
盲腸手術だとすると、当院のインプラントは最新の内視  
鏡を使った手術だと思っただけであればいいかと思  
います。ダメージ、痛みが少なく、傷も小さく、入院も短  
い！精度も高い。かかる時間も短い。

そんな感じですね。

### 第三章 1ピースインプラントははるかに長持ち

ひがし歯科では、年間300本ほどのインプラント手術を行っています。熊本県では、3～5番目に手術数が多い歯科医院です。TVコマーシャルに何百万円もかけてやってらっしゃる2医院以外では県下750医院中1～3番の数ですから、かなり多いわけです。他都道府県からの見学もたまにあります。さて、自慢はこれくらいにして――。

たくさん手術をするようになったある年、実は困った事が数件起きました。インプラントの上の部分をとめてあるネジが緩んで、冠が動いてきたのです。結局緩ん

でいるパーツを交換し、冠もやりなおす事になり、患者さんに迷惑をかける事になりました。

この件について、インプラントの各メーカーに問い合わせてみたら、意見が真っ二つに分かれました。一つは「ネジだから緩むのは申し訳ないが、どうしようもない」という意見。もう一つは「ネジだから緩むけど、当社のインプラントは工夫がしてあるので大丈夫」という意見。私は——前者が本当であると思いました。前者が誠実な営業マンの意見であると。では、どうしたら——。

紆余曲折の末、たどり着いたのは「1ピースインプラント」です。下記右図参照。このインプラントには、ネジがありませんので、緩むことはありません。



ツーピース型



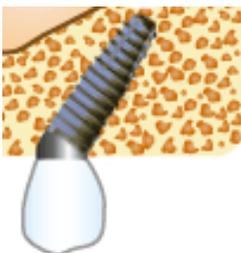
ワンピース型

緩まなくなったことで、インプラントトラブルのほとんどはなくなったのです。

しかし、1ピースインプラントには弱点があります。

下記左図の 2 ピースインプラントのように、傾斜埋入で誤魔化すことが出来ない事です。ただここで前述の

ひがし歯科の強み「SG と CT を用いたインプラント治療」



傾斜埋入

の良さが発揮出来るのです。つまり、きわどい所を狙って咬む面に垂直にインプラントを埋入するのです。どうでしょう。どちらが長持ちすると思われれます。どう見ても、1ピースの方ですね。2ピースだとネジ緩みそうですし、力に対しても弱そうですね。患者さんに言っています。「差がつくのは15年先！20年先！ですよ！」と。長持ちする方がいいに決まっていますよね。

実は、平成24年には1ピースのインプラントの優位性を示す事件が3つありました。

例1 10年前にインプラントをしたが、インプラント上部が緩んで脱離し来院。ところが、メーカーが倒産

しており、パーツが入手出来なかった。

例2 5年前インプラントをしたが、上部が緩んで動いていた。急いで来院するよう促したが、数ヵ月来院なく、来院された時には、すでにネジがインプラント内部で破損していた。

例3 10年前に入れたインプラントそのものが破損していた。

以上3例全て、他院で埋入されたものでしたが、インプラントを除去、再手術をしました。1ピースインプラントでは、例1.2のような緩みはありませんし、単純な太い単一の構造なので、例3のような破損もありません。1ピースインプラントの優位性を確信する3つの事件でした。

## 第4章 価格

いつもお伝えしている通り、歯科の保険制度はおかしい制度です。いわゆる医科で可能な「普通の治療が保険で受けられる」ということが歯科では不可能だからです。私が総理大臣か厚生大臣になったら、インプラントを保険に導入します。それが国民を健康にし、幸福にするからです。

しかし、現実は一——。お金がないと、良い歯科治療は受けられません。歯が無くなった後の、いい治療はインプラントだけなのに。

インプラント、ブリッジ、入れ歯という治療法は横に並

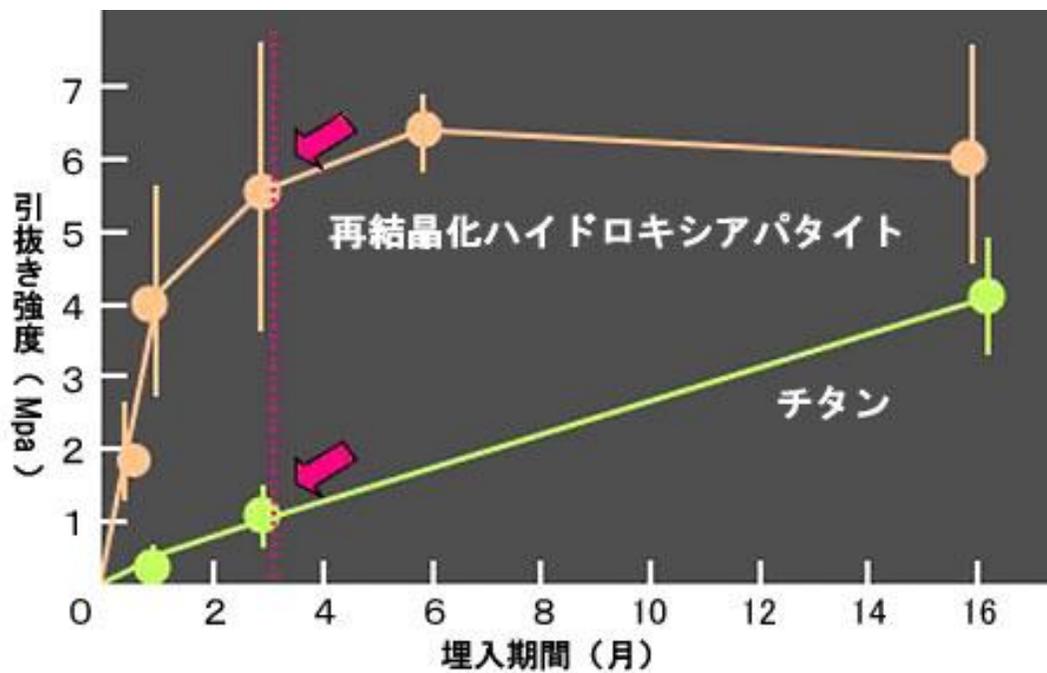
んでいるのではなく、縦に並んでいます。例えば、日曜日に東京で親戚の結婚式がある時に、飛行機で行くのが「インプラント」。夜行バスや鈍行で行くのが「ブリッジ」。路線バスを乗り継いで行くのが「入れ歯」みたいな感じですよ。話にならないんです。「入れ歯」は、1900年にはほぼ完成されたものです。今どき1900年のものって、身の回りに何かありますか？何もしませんね。

私達歯科医は、いろんな事を提供する能力や技術を持っているのに、人のためになりたいのに、保険で出来ないという理由で、出来ない事が一杯あります。本当に残念です。

ひがし歯科では、私達の能力を世のため人のために

少しでも発揮できるように、自費治療においては、価格を最低もしくはかなり低めに設定してあります。きっと「得ました！ラッキー！」と喜んでいただけるでしょう。しかも、前章で述べたように、高品質なのです。

なお、インプラントの材料には①チタンと②チタンの上にハイドロキシアパタイトコーティングされた物の二種があり、後者の方が、骨と早期につくので治療期間が短縮されます。当院では現在、このハイドロキシアパタイトコーティングのインプラントを使っています。



## 第5章 冠の材料と保証制度

インプラントの上にかぶせる冠に関しては、見かけ上、白い冠がいいですね。今では、Emax という、オールセラミックの商品が良いと言われています。ただし、耐久性としては本音で言うと、貴金属で金色に作る冠に比べるとどうなのかな？と思います。歯ぎしりをする人、食いしばりをする人とかは、かけたりしやすいですね。

そこで白い冠をメインでするにあたり、保証会社を利用して保証制度を始める事にしました。10年保証です。もし、白い冠にしてトラブルが起これば、10年

以内に起こりますから、これで OK だと思います。

又、この保証は一律30万円まで保証されますし、ひがし歯科が潰れても、全国どこでも保証されます。これで安心して、白い冠にすることが出来ます。

なお、厚みがどうしても取れない場合は、咬み合わせの面が金属になったり、ジルコニア単体になったりする場合もあります。ジルコニア単体の場合は、白ですがベタっとした白であり、そんなに綺麗ではありません。耐久性第一なら、咬み合わせを金属にするのが最も安心ではあります。

## 最後に

以上、「正直な意見」を述べさせていただきました。

「歯がなくなったら、インプラントしかない！

ひがし歯科のインプラントは凄い！」という事、

ご理解していただけたでしょうか。もちろん、こんな歯

科医療制度だからこそ、歯が抜けてインプラントにした

りしなくてもいいように、予防することが最も大切です。

私達の使命は、「患者さんを一生健康に幸福にする」

ことです。

長文お読みいただきありがとうございました。

ひがし歯科 院長 東 正也

## □著者 プロフィール

- 生年月日 昭和 34 年 12 月 10 日 (現在 53 才)  
□出身地 熊本県八代生まれ  
□出身校 鹿児島県立鶴丸高校卒業 (昭和 53 年)  
福岡県立九州歯科大学卒業 (昭和 59 年)

- 会員 日本口腔インプラント学会会員  
日本矯正歯科学会会員

- 略歴 昭和 59 年熊本にて勤務医  
昭和 61 年沖縄にて勤務医分院帳  
平成 4 年熊本にて開業  
平成 20 年No.1 デンティストクラブにて  
最優秀院長賞受賞。日本一となる。  
平成 25 年高速診療 DVD 全国発売



- 基本理念 Stand by Patient !  
～私たちは患者さんの味方です  
□連絡先 熊本県上益城郡嘉島町下六嘉 1878-3  
Tel・Fax 096-367-0112  
ホームページアドレス <http://www.higashishika.com/>

25 年 8 月 10 日発行《検印省略》

『ひがし歯科でインプラントを入れたくなる理由』

Copyright : 2013 by Masaya Higashi All right reserved.

Printed in Japan 2013.

定価 300 円